

学位論文審査の要旨

		要 旨
学位申請者	山崎 洋子 【人間発達科学専攻 平成20年度生】	<p>若年期女性のやせ願望は、極端なダイエットや喫煙などの健康リスク行動や摂食障害の危険因子と考えられている。近年、やせ願望やダイエット行動が低年齢化する一方、有効な対策のための基礎資料の不足が指摘されている。</p> <p>本論文は、子どものやせ願望のメカニズムの解明を目的とし、小中学生のやせ願望に対する、母親の瘦身理想の内面化、身体的成熟の影響、子どものメディア利用の影響を検討した。背景理論として Sociocultural Theory Model of Body Image をとりあげ、母親の瘦身理想の内面化と小学生のやせ願望の関連の検討（研究1）、母親の瘦身理想の内面化と中学生の子どもの瘦身理想の内面化の関連（研究2）、母親と女子の瘦身理想の内面化関連に対する、子どもの身体的成熟および母子関係の質の影響の調査（研究3）、子どもの瘦身理想の内面化に対するメディアの影響についての検討を行った（研究4）。</p> <p>審査委員会では、以下2点を評価した。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) やせ願望について小・中学生を対象にした調査を行い希少性が高い研究である。 2) 母親と子どものペアデータを収集し、やせ願望の伝達者としての母親の役割の解明という独自性の高い知見を得ていること。 <p>審査は3回にわたって行われた。第1回審査（平成28年11月30日（水））では、提出された学位論文についての審査が行われた。内容や研究方法の面で、博士論文の基準に達していると判断されたが、論文構成や研究間のつながりに関する課題の指摘がなされた。第2回審査は平成29年1月12日（木）、プレゼンテーションおよび修正原稿についての審査の形で行われた。修正原稿は、第1回審査での指摘に概ね応えていたが、議論や考察が不十分さなやプレゼンテーションの問題点が指摘された。第3回審査（最終試験/公开发表）は、平成29年2月15日（水）に行われた。第2回までに指摘された課題や問題点は概ね解消され、非常に明快なプレゼンテーションがなされた。質疑応答にも適切な対応がとられたと判断された。</p> <p>以上の結果から、本審査会は全員一致で、本論文を人間文化創成科学研究科人間発達科学専攻の学位、博士（人文科学）Ph.D. in Psychology に値するものと判定した。</p>
論文題目	子どものやせ願望と瘦身理想の内面化	
審査委員	(主査) 教授 大森 美香	
	教授 菅原 ますみ	
	教授 坂元 章	
	准教授 上原 泉	
インターネット 公表	<p>○ 学位論文の全文公表の可否（ 可 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 否 ）</p> <p>○ 「否」の場合の理由</p> <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin-left: 20px;"> <p>ア. 当該論文に立体形状による表現を含む</p> <p>イ. 著作権や個人情報に係る制約がある</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ウ. 出版刊行されている、もしくは予定されている</p> <p>エ. 学術ジャーナルへ掲載されている、もしくは予定されている</p> <p>オ. 特許の申請がある、もしくは予定されている</p> </div> <p>※ 本学学位規則第24条第4項に基づく学位論文全文のインターネット公表について</p>	